

新しい基本構想の章立て・構成（案）

1. 新基本構想の章立て・構成（案）の考え方

新しい基本構想は、「まちづくりの基本的理念であり、市のめざす新しい都市像及び将来の基本目標を示すもの」という条例の定義に鑑み、中核となる部分をわかりやすく表現するために、次のとおり章立て・構成を変更することを考えている。

(1) 序論の設定について

現行計画では、基本構想に様々な内容を盛り込んでいるが、次期計画では、最終的に計画書としてまとめた際の読みやすさを考慮し、基本構想及び基本計画の前に基礎情報を掲載する序論を設ける。

そのうえで、現行計画にある「総合計画とは」「計画構成」「進行管理」などは総合計画全体のつくりや運用について説明するものであること、また、「社会の動向・課題」は本市を取り巻く状況であり計画策定にあたっての前提として踏まえるべきものであること、さらに、「将来人口」はこれまでの人口の推移や近年の動向などをもとに算出した推計値（予測値）であることから、これらの基礎情報を序論に位置づける。

(2) 第2章と第3章の統合及び記載内容の変更について

現行計画では、「第2章まちづくりの主な課題」を1つの章としているが、次期計画では、分野ごとの「府中市の現状・課題」と「第3章まちづくりの大綱」に記載している「めざすまちの姿」の関係性を理解しやすくするために、第2章と第3章を統合する。

そのうえで、第3章の「役割分担の考え方」については、この役割を踏まえて進められている協働によるまちづくりを更に前進させる目的から、「協働についての考え方」に記載内容を置き換える。加えて、「重点的取組」については、社会情勢や市民ニーズの変化に合わせて内容の見直しも行えるように、基本計画期間（4年）ごとに管理することとし、基本計画内に要素をまとめるかたちで整理する。

(3) 行財政運営の大綱の章立てについて

現行計画では、「第3章まちづくりの大綱」の中に「行財政運営の大綱」が含まれる構成としているが、この大綱は分野別のめざすまちの実現に向けて行政が効率的かつ効果的に行財政運営を行う旨を記載するものであることから、次期計画では、この部分を明確にするために章を独立させた構成に改める。

(4) 第4章の削除について

現行計画の第4章の構成項目である「協働によるまちづくり」や「進行管理」について、次期計画では、別の章と統合又は序論へ移行することとしたため、この章自体を削除する。

2. 序論と基本構想の構成（案）と掲載イメージ

次期計画の序論と基本構想の構成（案）と掲載イメージは、次のとおりである。

(1) 序論の全体構成（案）

第1章 総合計画策定にあたって

総合計画とは

計画構成

計画期間

進行管理

第2章 本市を取り巻く社会動向と課題

分野ごとの社会動向と課題

第3章 人口の将来見通し

人口の動向

人口の推移と将来見通し

第4章 財政状況

(2) 序論の掲載イメージ

第1章 総合計画策定にあたって

総合計画とは

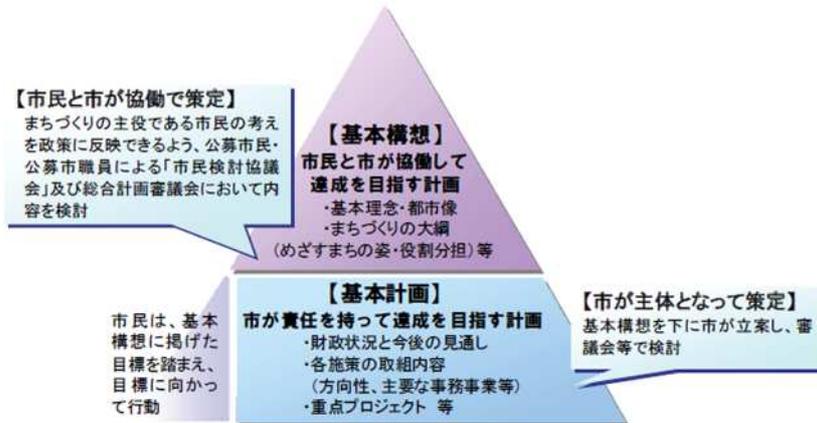
総合計画は、市の最上位計画として、・・・

計画構成

この計画は基本構想及び基本計画で構成します。

基本構想は・・・・・・・・・・・・・・・・

基本計画は・・・・・・・・・・・・・・・・

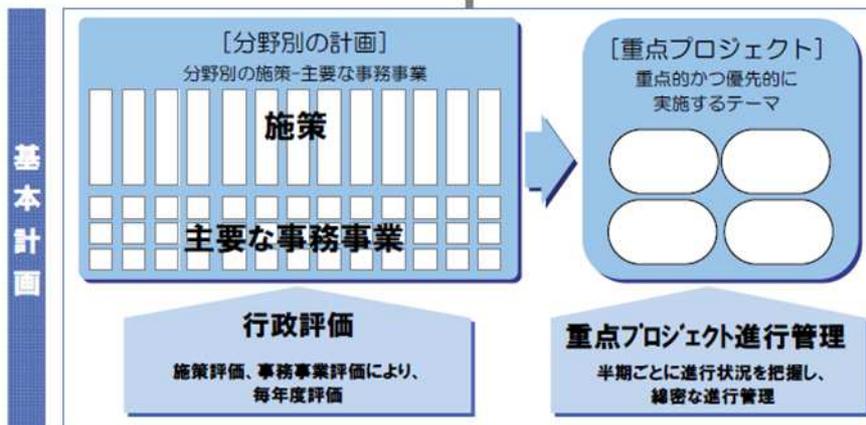


計画期間

本計画は、令和4年度を初年度として、基本構想は令和11年度までの8年間、前期基本計画は令和7年度までの4年間で計画期間とします。

計画の進行管理

総合計画の進行管理は、行政評価及び重点プロジェクト進行管理を中心としたマネジメントシステムにより、PDCAサイクルを確立し、行っています。



第2章 本市を取り巻く社会動向と課題

本計画において踏まえるべき社会動向と課題は次のとおりです。

分野ごとの社会動向・課題

健康・福祉分野

社会の動向・課題

我が国の総人口は既に減少傾向にあり、長期的な少子化を背景として高齢化率が継続的に上昇しています。さらに、本計画期間中にいわゆる団塊の世代のすべてが後期高齢期に達することから・・・・・・・・

生活・環境分野

第3章 人口の将来見通し

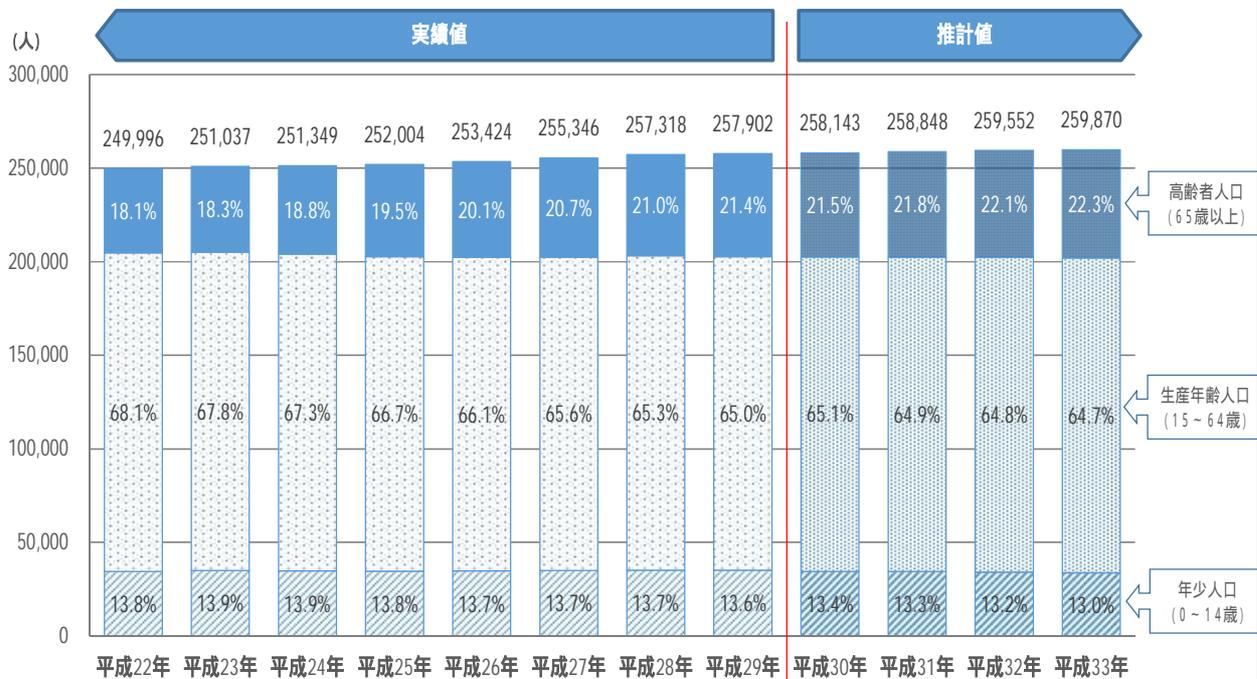
人口動向

本市の総人口は1920年以降一貫して増加傾向を維持しています。しかし、出生率が低い水準のまま推移しているため、少子高齢化が進展しており……

人口の推移と将来人口見通し

本市の人口は、令和〇年に本市の人口は減少に転じると見込まれます。また、老年人口比率は令和〇年時点で〇%まで上昇、年少人口は%まで低下……

< 府中市の人口推移と将来見通し >



(3) 基本構想の全体構成（案）

第1章 まちづくりの基本理念と都市像

基本構想の目的

まちづくりの基本理念

基本理念の4つの視点

都市像および基本目標

【都市像】を記載

【基本目標】を記載

計画期間

第2章 まちづくりの大綱

分野別の基本目標

府中市の現状・課題

めざすまちの姿

協働に向けた考え方

1 健康・福祉

2 生活・環境

3 文化・学習

4 都市基盤・産業

第3章 行財政運営の大綱

行財政運営の大綱

府中市の現状・課題

めざすまちの姿

協働に向けた考え方

(4) 基本構想の掲載イメージ

第1章 まちづくりの基本理念と都市像

基本構想の目的

この基本構想は、市民と市が協働して市民の視点に立ったまちづくりを進める・・・

まちづくりの基本理念

市民がまちづくりに主体的に参加しながら、相互に尊重し協力し合い、・・・

基本理念の4つの視点

(1) 市民が主役のまち

まちづくりは、私たち・・・

(2) 絆で結ばれたまち

私たちは、世代を超えた交流・・・

(3) 誇りと愛着の持てるまち

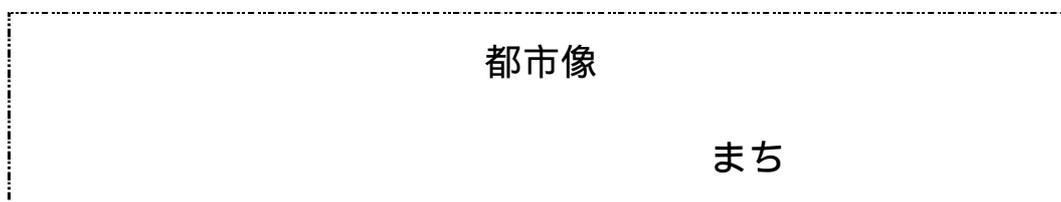
私たちのまち府中は、武蔵国の国府が置かれ、・・・

(4) 安全安心なまち

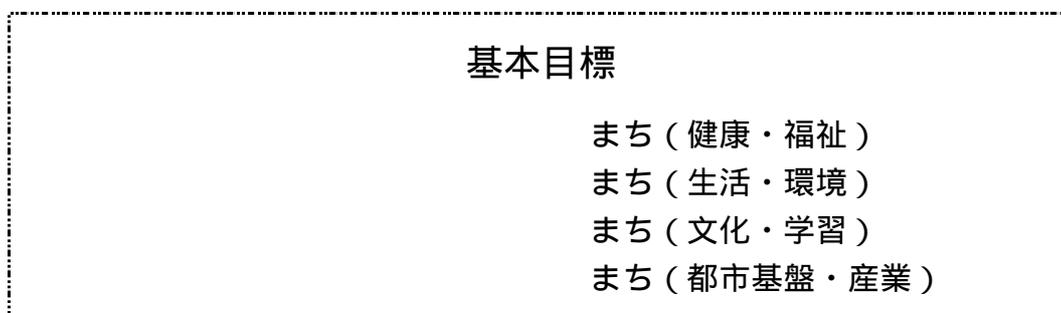
自助・共助・公助の下、私たちは安心してこのまちで暮らせるよう、・・・

都市像および基本目標

(1) まちづくりの基本理念を踏まえて、市民と市がともに目指す都市像を・・・



(2) この都市像を実現するために、次の通り基本目標を定め、・・・



計画期間

この基本構想の計画期間は、・・・

(現在の基本構想における「将来人口」を序論へ移動する)

第2章 まちづくりの大綱

(現在の基本構想における「府中市の現状と課題」を基本目標ごとに記載するとともに、「役割分担の考え方」を「協働に向けた考え方」へと変更、「行財政運営の大綱」を第3章として独立させる)

分野別の基本目標

1 まち（健康・福祉）

府中市の現状・課題

本市の高齢化の状況は、・・・

(1) 健康づくりの推進

めざすまちの姿

・市民一人ひとりが心身の健康づくりへ・・・

協働に向けた考え方

医療機関、企業や大学、ボランティアなど多様な主体と連携し・・・

第3章 行財政運営の大綱

(現在の基本構想において「まちづくりの大綱」の中に組み込まれている「行財政運営の大綱」を第3章として独立させる)

行財政運営の大綱

府中市の現状・課題

国が進める地域の自主性と自立性を高める取組を本市でも推進・・・

(1) 市民の参画意欲を高める市政運営

めざすまちの姿

・市は、多様な市民層に適した分かりやすく、・・・

協働に向けた考え方

・広報や市のホームページの・・・

3. 新旧対照表

現行計画と次期計画の基本構想における章立てについて、新旧対照表は次のとおりである。

< 基本構想章立て 新旧対照表 >

旧（現）基本構想	新基本構想	
第1章 まちづくりの基本理念と都市像	第1章 まちづくりの基本理念と都市像	
1 基本構想の目的	1 基本構想の目的	
2 まちづくりの基本理念 基本理念の4つの視点	2 まちづくりの基本理念 基本理念の4つの視点	
3 都市像および基本目標 【都市像】を記載 【基本目標】を記載	3 都市像および基本目標 【都市像】を記載 【基本目標】を記載	
4 計画期間	4 計画期間	
5 将来人口	「序論」へ	
第2章 まちづくりの主な課題	社会的動向・課題は「序論」へ 府中市の現状・課題は「まちづくりの大綱」 及び「行財政運営の大綱」へ	
1 分野別の主な課題 以下（1）～（4）の分野ごとに、 次の項目を記載 社会の動向・課題 府中市の現状・課題		
（1）健康・福祉分野		
（2）生活・環境分野		
（3）文化・学習分野		
（4）都市基盤・産業分野		
2 行財政運営上の課題 社会の動向・課題 府中市の現状・課題		
第3章 まちづくりの大綱		第2章 まちづくりの大綱
分野別の基本目標		分野別の基本目標
以下1～4の分野における基本施策ごとに 次の項目を記載 めざすまちの姿 役割分担の考え方 重点的取組		以下1～4の分野ごとに「 <u>府中市の現状・課題</u> 」を記載するとともに、各分野における基本 施策ごとに次の項目を記載 めざすまちの姿 <u>協働に向けた考え方</u> 「基本計画」へ

1 健康・福祉	1 健康・福祉
2 生活・環境	2 生活・環境
3 文化・学習	3 文化・学習
4 都市基盤・産業	4 都市基盤・産業
行財政運営の大綱	第3章 行財政運営の大綱
	府中市の現状・課題
めざすまちの姿	めざすまちの姿
役割分担の考え方	協働に向けた考え方
重点的取組	「基本計画」へ
第4章 基本構想の実現に向けて	「まちづくりの大綱」及び「行財政運営の大綱」の「協働に向けた考え方」へ
1 協働によるまちづくり	
1. まちづくりのあり方 2. 協働によるまちづくり	
2 進行管理について	「序論」へ